

URBAN-REPORT

私が見た中国の今

コロナ禍のため、今年2025年の春節に5年ぶりに中国へ帰省しました。この5年間で、中国は大きく変化しました。私が見たこと、感じたことをアーバンレポートとして紹介したいと思います。

近年、中国は宇宙探索、通信技術、人工知能、新エネルギーなどの領域で、世界でも上位に位置しています。これらの情報は日本のニュースでもよく目にします。科学技術の進歩と成果のおかげで、現在の中国人は自信に満ち溢れ、愛国心が強く、誇り高いと感じます。昔の歴史や文化を自慢する教育よりも、ずっと効果的だと感じています。

国産の新エネルギー車は急成長を遂げており、現在、新車販売台数全体の40.9%を占めています。環境に優しく、燃費が良い上に、減税や補助金などの優遇措置もあり、特に若者の間では高級外車よりも人気です。国も奨励しており、住宅街やオフィス街など、建築の際の充電インフラ整備が必須条件になっているそうです。充電よりさらに時短・効率的なバッテリー自動交換設備もよく見られます。今年3/17にはガソリン車の給油とほぼ同じ速さでの充電が可能となる新技術と、全国に充電網を構築する計画が発表されました。



街中の一般的な駐車場



街中にある車バッテリー自動交換設備

車に搭載されたナビゲーションシステムは、中国が独自に開発した「北斗卫星导航系统」（中国語）、Beidou Navigation Satellite System（英語）です。音声案内は、有名人の声や機械音、上品な女性、可愛い子供、怖いおじさん、お笑い、アニメ、キモカワ風など、パターンが豊富で、好みで選べます。眠気防止にもなり、とても楽しいです。

ナビは交通信号システムと同期しています。ナビ画面に信号が表示され、信号が変わるまでのカウントダウン時間も表示されるので、一目瞭然です。信号待ちでカーナビを操作する場合は、青信号の見落としによる発進の遅れで、後続車に迷惑にならないので、非常に便利な機能です。



信号機



ナビ画面は信号機と同期

ナビ以外の音声コントロールは、家電にも普及しています。中国語では「智能家電（スマート家電）」と言い、智能テレビ、エアコン、ガスレンジ、換気システム、空気清浄機、照明器具などがあります。お年寄り、障害者、忙しい現代人にとって、非常に便利です。

多機能家電も人気があります。冷蔵庫にWi-Fiを搭載したり、飲水器でスマホを充電できたり、炊飯器で炊くと蒸し料理が同時にできたりするなど、お得感があります。

また、シェアビジネス・シェアサービスも普及しています。よくある自転車、車、オフィス、傘、エアークローゼットのシェアサービス以外にも、日本では法規制されている自家用車を利用した相乗りサービス（ライドシェア）があちこちにあり



飲水器

規制されている自家用車を利用した相乗りサービス（ライドシェア）があちこちにあり、無人タクシーは全国11都市で試験サービスを実施しており、サービスプラットフォームでは有名な自動運転サービス「萝卜快跑(Apollo Go)」(日本語直訳：大根速く走れ、大根の中国語発音はロボットに近いのです。)



無人運転タクシー

日本にあっという間と思うのは、日本のレンタカーのようにスマホ充電器を簡単に貸し出してくれるサービス（共有充电宝）です。ほとんどのデパート、スーパー、飲食店、喫茶店、駅、空港、旅行地など公共の場に設置されているので、とても助かります。

国策として、中国製造の重点領域の一つにロボットがあります。近年、ロボット産業の急速な拡大を図っており、2025年春節の人気番組（日本では紅白歌合戦のような名物番組）では、二足歩行の人型ロボットが集団でダンスや民俗舞踊を披露し、繊細な動きで視聴者を驚かせ、海外のSNSでも大きな話題となりました。人型ロボット産業研究報告によると2029年には世界全体の32%を占めることが予想されています。製造・医療・災害対策以外、一般市民の介護支援や家事代行など多様な役割を担うようになるでしょう。

5年ぶりの帰省で、一般市民の生活が豊かになったことに最も感銘を受けました。日本と同じように、世界中の美味しいものが簡単に手に入ります。便利さでは日本よりも進んでいると感じます。大気汚染も非常に改善されています。



年越し番組での人型ロボット集団ダンス

「中国は独裁体制だ」とよく言われますが、政治に関してはよく分かりません。現在、中国では不動産市場への規制強化や少子高齢化など、様々な問題を抱えていますが、一般市民は間違いなく豊かで幸福になっています。国民第一主義の独裁者なら悪くないのかもしれない。

「远亲不如近邻，近邻不如对门」という中国の諺があります。その意味は、遠い親戚よりも近所の人、近所の人よりも隣りの人、ということです。日本と中国が友好的な関係を保つことは、両国の利益になるのは間違いありません。日本のリーダーたちには、世界の国々と上手く外交することを心から願っています。